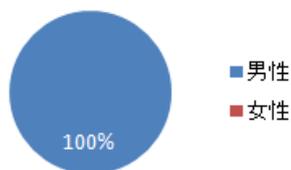


「研究所における女性研究者支援モデル育成事業」に関する認知度調査の結果

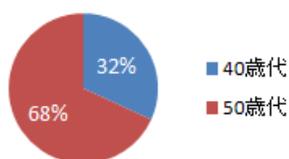
実施期間：平成21年3月2日～23日

対象者：難治疾患研究所、生体材料工学研究所、疾患生命科学研究所の常勤教授32名（22名より回答、回答率68.7%）

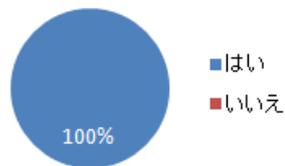
回答の結果、本校が女性研究者支援モデル育成事業に平成20年度から取り組んでいること、並びに当室の存在については100%が「知っている」との回答でした。また、女性研究者の数を2020年までに20%に増加する数値目標については73%が「知っている」、当該目標を掲げることについては77%が「賛同する」との回答でした。



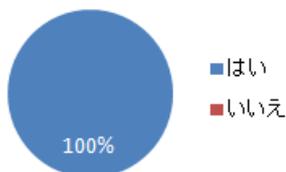
1-1. 男女比



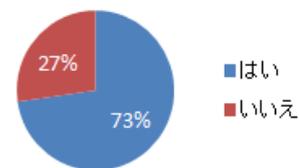
2-1. 年齢割合



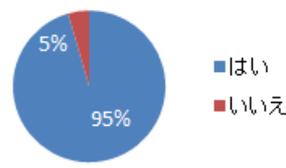
3-1. 文科省科技振調整費の女性研究者支援モデル育成事業に本校が平成20年から取り組んでいることを知っていますか。



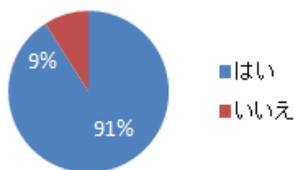
3-2. 女性研究者支援室を知っていますか。



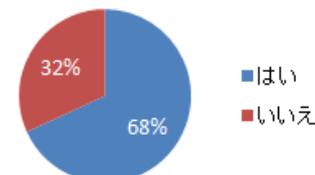
3-3.. 研究部と研究所において女性研究者を10%増加させ、2020年までに全校で女性研究者の割合を20%に増加するという目標を知っていますか。



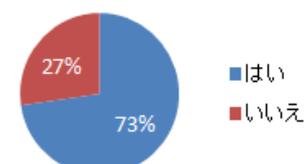
3-4. 出産・育児等に直面した女性研究者に、女性研究者支援室が研究補助員を配置するプログラムを知っていますか。



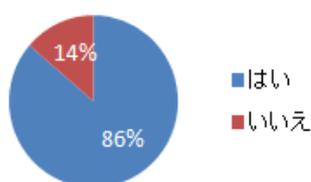
3-5. 女性研究者支援室で、在宅研究システムを開発中であることを知っていますか。



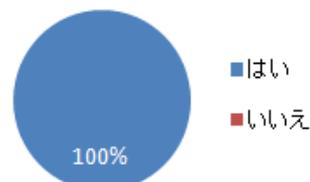
3-6. 本プログラムで緊急・病児保育に対する支援を制度化するという目標を知っていますか。



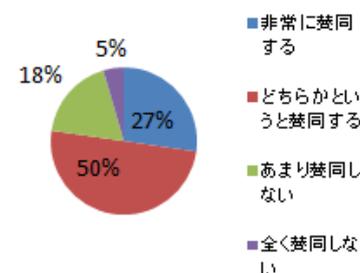
3-7. 本プログラムで性差医学を推進し、男女共同参画への意識を高めるという目標を知っていますか。



3-8. 女性研究者支援のための情報環境を整備することが目標であることを知っていますか。



3-9. 1月23日に「女性研究者への革新的支援シンポジウム」が行われたことをご存じですか。



3-10. 本校において、女性研究者を増加する数値目標を掲げていることについてどう思われますか。